

2. 第2回作業部会の意見のとりまとめ結果を踏まえた導入機能への反映方針

■ 第2回WSとりまとめ（概要）と導入機能への反映方針

| | 導入機能（案） | 導入機能（案）への反映方針 | 導入機能（案）名 |
|---------|---|---|---|
| 屋外施設 | 1 イベント開催やちょうさの展示など多様な使い方ができる屋外広場 | ・キッチンカーやちょうさ等のイベントなどとしても活用可能な 多目的屋外広場を整備 する | ・多目的屋外広場 |
| | 2 イベントを頻繁に開催できる雨に濡れない大屋根広場 | ・屋外広場と屋内施設をつなぎ、雨天時にもイベント開催可能な 大屋根広場を整備 する ⇒ 娯楽施設は常設とせず多目的屋外広場等も活用してイベントとして開催する | ・大屋根広場 |
| | 3 四国最大級のマンガ図書館がある娯楽施設、施設投資費の少ない娯楽施設 | | |
| | 4 季節で水量が変化し、夏の暑さがしのげる水辺広場 | ・水深が浅く、子供が安全に遊ぶことができる 水盤及び水景施設を整備 する | ・水景施設 |
| | 5 噴水ショーが見られ癒しになる水辺広場 | | |
| | 6 砂絵アートのある施設 | ・銭形砂絵・寛永通宝、ちょうさ祭りやアニメなど道の駅のランドマークを設置する シンボルゾーンを整備 | ・シンボルゾーン（スポット） |
| | 7 季節の感じられる、眺望の良い写真スポット | ・季節により変化する風景やJR予讃線を走る列車（アンパンマン号）が走る風景、瀬戸内海に沈む夕陽などを眺められる 写真撮影スポットを整備 する | |
| | 8 海鮮が食べられて手ぶらでも楽しめる（ラグジュアリーな）BBQ場 | ・一の宮公園にキャンプ場が整備されている ⇒ BBQ場は、一の宮公園内のキャンプ場で機能を確保することとし、道の駅内に整備予定の地域振興施設（直売所等）や近隣商業施設との機能補完による利便性向上を目指すため、食材の加工施設を整備する | ・バーベキュー場食材提供補助施設 |
| | 9 一の宮公園と連携したスポーツ施設 | ・一の宮公園は多様な機能を有する都市公園として位置付けられており、キャンプ場、スポーツ施設（テニスコート、スケートボード広場）が整備されている。都市公園がもたらす効果のうち、 環境維持・改善効果、健康・レクリエーション空間提供効果、景観形成効果 については、一の宮公園が既に担っていることから、 道の駅との機能連携による相乗効果を発揮 することを期待する。スポーツ施設については、利用受付を、道の駅の情報コーナーに集約するなど、利便性向上を図る。 | ・一の宮公園と繋ぐ歩行者デッキなどの動線やシェアモビリティステーション（一の宮公園と連携したスポーツ施設・公園・緑地） |
| | 10 一の宮公園と連携した公園 | | |
| | 11 一の宮公園と連携した緑地 | | |
| | 12 雑草が生えて無い管理の行き届いたドッグラン | | |
| 屋内施設 | 13 こころいお土産や四国四県のお土産が買える物産・観光直売所 | ・地元事業者からの出品に加え、四国全県のゲートウェイとして各県の特色ある産品や全国の名産品を展示・販売する、 物産・観光直売所を整備 | ・地場産センター |
| | 14 地元企業の商品を活かした24時間色々な食品・物品が購入できる自販機コーナー | ・観音寺産の地産地消をテーマとした 直売所を整備 ➢ アンケート調査結果から、レジャーの志向性5区分では、「地元の農産物や周辺の農産物の購入できる直売所」の利用意向は「月にも2〜3回に1回以上が約40%と高い」。 | ・地元企業の商品等を活かした自販機コーナー |
| | 15 1次産業の振興につながる安心・安全な食材を買える香川県最大級の産直市場 | ➢ アンケート調査結果から、「焼きたてパンやお菓子を購入できる直売所」の利用意向は「月に2〜3回程度」が市民で約38%、周辺住民で25%と 利用意向は高い 。 | ・地産地消マルシェ |
| | 16 地域産品にこだわった「観音寺」を食べられる、フードコート | ・地域の特色ある軽飲食（うどん・海産物等）を食べられるフードコートを設置 ・アンケート調査結果から、「フードコート、キッチンカー等の軽食の食べられる施設」の利用意向は「2〜3か月に1回以上」が 市民・学生で約50%、周辺住民で40%と高い 。 | ・軽飲食フードコート |
| | 17 食品添加物を極力使わない調理人が育つレストラン | ・観音寺市内の港で水揚げされた新鮮な魚介類等を食材にしたものや健康を意識したものなど、 「観音寺のグルメ」を堪能できるレストラン を配置 ➢ アンケート調査結果から、「地域の食材を活かしたレストラン」に対する市民の利用意向は 2〜3か月に1回以上が約45%と高い 。 | ・地産地消レストラン |
| | 18 郷土産品の活用に拘った新しいビジネスチャンスとなるチャレンジショップ | ・新たなビジネスチャンスの獲得につながるチャレンジショップや、農業・漁業・ものづくり観音寺の特産品づくりなど体験施設など市内事業者のPR等につながる施設を整備する | ・産業振興施設 |
| | 19 食べられる体験施設 | ・道の駅がもたらす市内外からの高い集客力を活かし、 道の駅を基点とした周遊観光を促進 する。 ⇒ 市内の観光施設やうどん食べ歩きなど地元のお店や民間イベントなどの情報を提供する、 観光案内機能を配置 する。アニメ（結城友奈は勇者である、ポケモン。アンパンマン）や銭形くんなどのコラボイベントの起点にもなり、 グッズ販売や情報発信コーナーを配置 する。 | ・情報提供コーナー |
| | 20 見やすい、手に取りやすい、分かりやすい、お洒落な名前ランキング1位を活かした情報コーナー | | |
| | 21 地元のうどんの食べ歩きができる情報コーナー | | |
| | 22 ちょうさの衣装を着てちょうさを担ぐ体験ができる施設 | ・恒久的なちょうさの展示・体験等については、隣接するちょうさ会館と連携する ⇒ キッチンカーやちょうさ祭り等のイベントなどとしても活用可能な 多目的屋外広場を整備 する | ・既存施設（ちょうさ会館）を道の駅の計画地と一体利用 |
| | 23 ネット環境など、設備が整っているビジネス施設、学生が勉強できるカフェ | ・中高生にとって家庭、学校に次ぐ第3の学びの場となるカフェに併設した オープンラウンジを整備 ・市民活動拠点にもなり、打ち合わせなどにも利用可能な スペースの整備 | ・カフェ、オープンラウンジ |
| | 24 夏の暑さがしのげて安全な屋内キッズランド | ・屋内遊具などで子どもが遊ぶ姿を見ながら一息つけるカフェに近接して 屋内キッズスペースを整備 | ・屋内キッズスペース |
| 温浴施設・宿泊 | 25 風呂上がりに地ビールが飲める（+地域の有名食事）夕陽が眺められる露天風呂のある温浴施設 | ・一の宮公園のスポーツ施設やBBQ施設利用者やサイクリング、遍路等を対象とした コインシャワーを整備 ➢ アンケート調査結果から、レジャーの志向性5区分では、「アウトドアレジャーやお遍路で疲れた体を癒す温浴施設」の利用意向は「月にも半年から1年に1回が約30%と利用頻度は高くはないものと想定される」。 | ・コインシャワー |
| | 26 自転車を活用した宿泊・温浴等もできる安価な車中泊施設 お遍路さんが使えるような清潔で安価で安全・気軽な宿泊施設 | ・一の宮公園のスポーツ施設やBBQ施設利用者やサイクリング、遍路等を対象としたコインシャワーを整備 ⇒ ホテルは、今後の需要拡大を踏まえ、隣接地への民間事業者による施設整備を誘致検討し、道の駅には、 車中泊施設を整備 | ・車中泊専用スペース |
| 交通施設 | 27 人にやさしい全天候型の駐車場、時刻表が大きな文字の駐車場・バス停 | ・全面交通量等に応じた 駐車場を確保 するとともに、市内外バス路線の結節点となる バス乗場を整備 | ・交通結節点（駐車場・バスターミナル） |
| | 28 四国一周の聖地になるようなサイクルステーション | ・市内周遊の起点となる短距離移動に利用する自転車や電動マイクロモビリティなどの貸出返却拠点を整備 | ・シェアモビリティステーション |
| | 29 防災にも使える観光移動施設 | | |
| | 30 手すりがあり、安全でバリアフリーな一の宮公園とをつなぐ歩行者デッキ | ・一の宮公園との相互の機能補完による相乗効果を発揮する、歩行者デッキを整備する | ・一の宮公園等と繋ぐ歩行者デッキなどの動線やシェアモビリティステーション |